

コンセプト① 誰もが訪れやすい庁舎

市民の皆さまが訪れた時の玄関となる来客用駐車場や公共交通の利用を敷地の中央に集約し、誰もが訪れやすい配置としています。



主要建物が中央駐車場に面した配棟



らん・らんバスやタクシーなど公共交通の乗り場を中央駐車場に集約



新庁舎と既存庁舎をつなぐ渡廊下

コンセプト② わかりやすい施設構成

明確なフロア構成、市民利用の動線を優先的に確保するとともに、既存庁舎と新庁舎の機能を適正に分担することにより、市民に分かりやすく、利用しやすい庁舎としています。



来庁者の多い市民窓口を一階に集約



随所に配置した案内サイン



4階に設置した議場ロビー(展望ロビー)は見晴らしの良い展望ゾーン

コンセプト③ 市民に開かれた庁舎

市民ロビー・市民広場は、様々な市民活動や交流を促進することで、市民が市政に参画しやすい環境づくりをめざします。また、4階議場については、段差のない床とすることで、将来的に議会以外の市民利用が可能です。



市民ロビーは、災害時の一時退避やボランティア等の活動拠点として利用可能



三原川沿いに面し開放的な市民広場



段差のないフラットな議場

コンセプト④ 機能的で経済的な庁舎

行政機能を効率的に運営でき、機能的で快適な庁舎とすることで、光熱費の削減、改修や清掃のしやすさなどライフサイクルコスト（建物生涯コスト）を最小限にする計画としています。



柱の少ない工法を採用することで、フレキシビリティが向上



市民エントランスは、広がりのある空間を実現



天井の高い1階は居住域を効率的に空調する床噴出し方式を採用

コンセプト⑤ 災害に強い環境共生型庁舎

免震構造や設備バックアップによる災害に強い建物とすることで、設備機械に頼りすぎず自然エネルギーを有効に活用する環境共生型庁舎となっています。



免震構造の採用による震災直後からの拠点機能を維持



「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」に準拠した72時間のバックアップ可能な非常用エンジン



太陽光パネル設置、電力使用量の見える化などエネルギーのランニングコスト削減

コンセプト⑥ 「南あわじ」らしい庁舎

瓦の利用など、南あわじ市のシンボルとして相応しい庁舎としています。



外壁や渡廊下のひさしなど積極的かつ効果的に瓦を利活用



議場前の壁や市民ロビーの床など内装材としても瓦を利活用



周辺の豊かな自然との調和をめざし、市民の皆さまが自然を感じられる居心地の良い庁舎